

# 日本のシステム建築市場、 FY2026 に 1,981.6 億円へ拡大見通し

— FY2025 シェアは上位 4 社で 76.6%、物流・製造・危険物・冷凍冷蔵需要が成長を牽引 —

株式会社マーケティングアンドアソシエイツ（東京都千代田区）が主要 7 社へのヒアリング調査と公開情報をもとに整理・分析したところ、日本のシステム建築市場（メーカー機能ベース）は FY2021 の 1,384.5 億円から FY2026 に 1,981.6 億円へ拡大する見通しです。市場拡大を支えるのは件数の急増というより、物流再編・製造投資・危険物／冷凍冷蔵用途の広がりに加え、資材・労務費上昇と仕様高度化を背景にした単価上昇です。

FY2026 予測 市場規模

## 1,981.6 億円

主要 7 社合算／メーカー機能ベース

FY2021-2026 CAGR

## 7.4%

数量拡大より金額ベースの成長が中心

FY2025 上位 4 社シェア

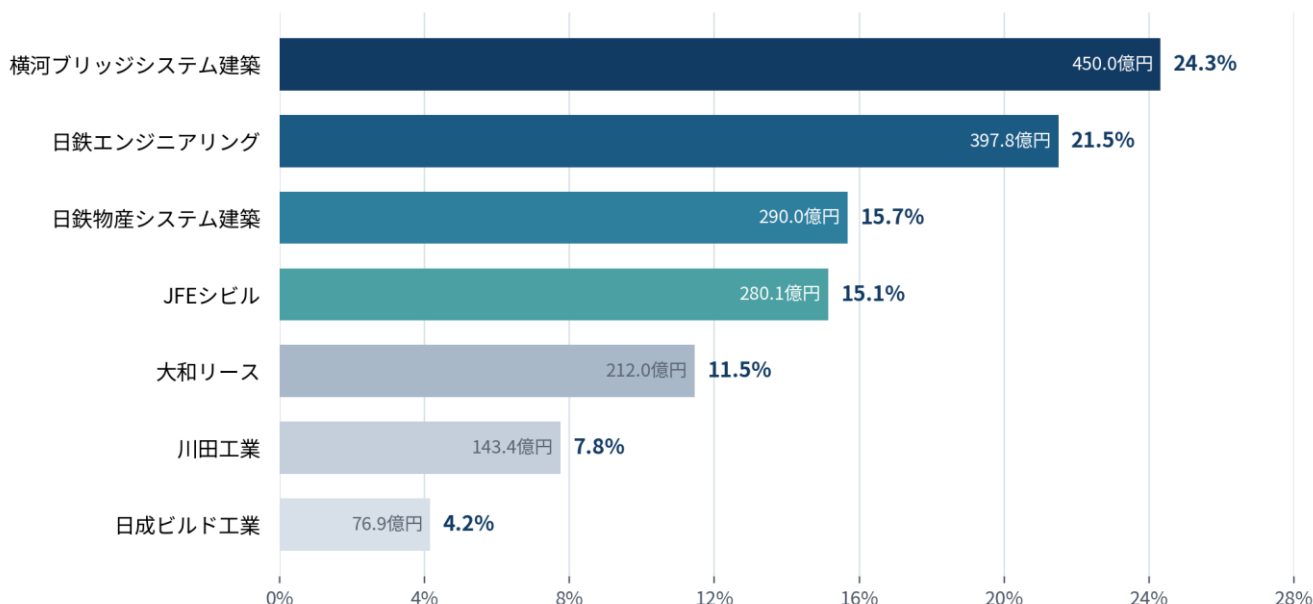
## 76.6%

横河 BS 建築・日鉄エンジ・日鉄物産 S 建築・JFE シビル

市場の伸びは「数量拡大」より「用途高度化と単価上昇」が中心。上位集中は続く一方、危険物・冷凍冷蔵・多層物流などの用途特化では差別化余地が残ります。

## 2025年度 売上シェア

主要7社合計 1,850.2億円 / 上位4社で76.6%



出所：株式会社マーケティングアンドアソシエイツ「システム建築市場 2026」  
注：メーカー機能（部材費+施工費）ベース、FY2025は見込み値

FY2025 のシェアは横河ブリッジシステム建築が 24.3%で首位。日鉄エンジニアリング 21.5%、日鉄物産システム建築 15.7%、JFE シビル 15.1%が続き、上位 4 社で市場の約 4 分の 3 を占める構造です。

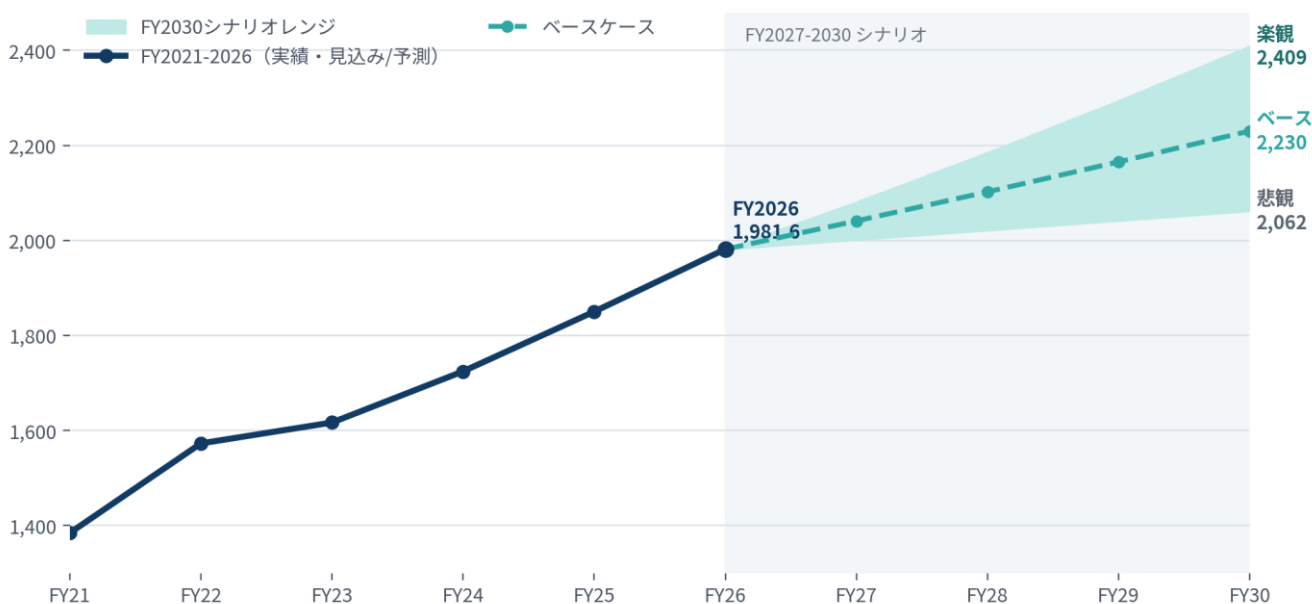
## FY2030 はベースケースで 2,230 億円規模へ

物流・製造投資の継続に加え、危険物・冷凍冷蔵・多層物流など高仕様案件の伸長が市場を下支え

「工法の選択」から「事業立ち上げの時間短縮ソリューション」へ。工期短縮だけでなく、法令対応、BCP、脱炭素まで含めた提案力が競争優位を左右します。

### 市場規模の成長見通し

FY2026 1,981.6億円 → FY2030 ベースケース 2,230億円



出所：株式会社マーケティングアンドアソシエイツ『システム建築市場 2026』  
注：FY2027-2030はFY2026実績値を起点に、ベース年率3%、楽観5%、悲観1%で試算

#### 市場を押し上げる 3 つの需要

- 物流再編：EC・在庫配置・自動化を背景に、中大型・多層物流の需要が継続
- 製造投資：半導体・電池・食品・医薬などで、立ち上げ速度重視の建屋需要が増加
- 高度用途：危険物・冷凍冷蔵で、法令・温度管理対応のパッケージ需要が拡大

#### 今後の競争軸

- 施工人材・協力会社ネットワークを維持し、供給能力を確保できるか
- 見積・設計 DX/BIM を通じて、提案スピードと品質を両立できるか
- 省エネ・脱炭素・BCP を標準オプションとして商品化できるか

#### 調査概要・注記

対象は国内市場の大宗を占める主要 7 社。市場定義はメーカー機能（建物費・部材費＋施工費）で、基礎・外構・設備等は原則除外。FY2025 は見込み、FY2026 は予測、FY2027-2030 はシナリオ試算です。大和リース、川田工業は比較可能性を担保するため当社推計により補正。数値は公開情報とヒアリングに基づく当社推計であり、各社の公式発表値と一致しない場合があります。

本資料『システム建築市場 2026～日本のシステム建築市場の現状分析と見通し（2021 年度-2026 年度）～』（税抜き価格 100,000 円）

に関するお問い合わせ：（株）マーケティングアンドアソシエイツ 第 2 リサーチ事業部 立石（tel：03-3238-9326）

本サマリーは、（株）マーケティングアンドアソシエイツ『システム建築市場 2026～日本のシステム建築市場の現状分析と見通し（2021 年度-2026 年度）～』（2026 年 4 月発行）を基に当社が要約・再構成したものであり、掲載数値は同社推計に基づきます。

引用の際は（株）マーケティングアンドアソシエイツ調べと記載ください。